

室内で身を守る



住宅内の被害状況(震度5強)

(釧路市A宅:鉄筋コンクリート造3階建ての2階住戸(3LK)~建物被害無し)

台所



居間



食事スペース

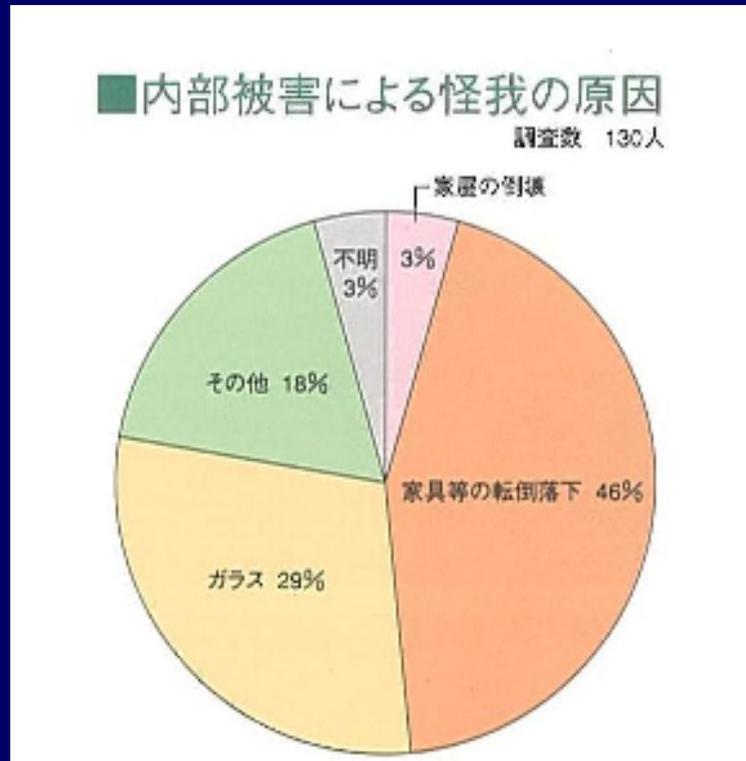


子ども室

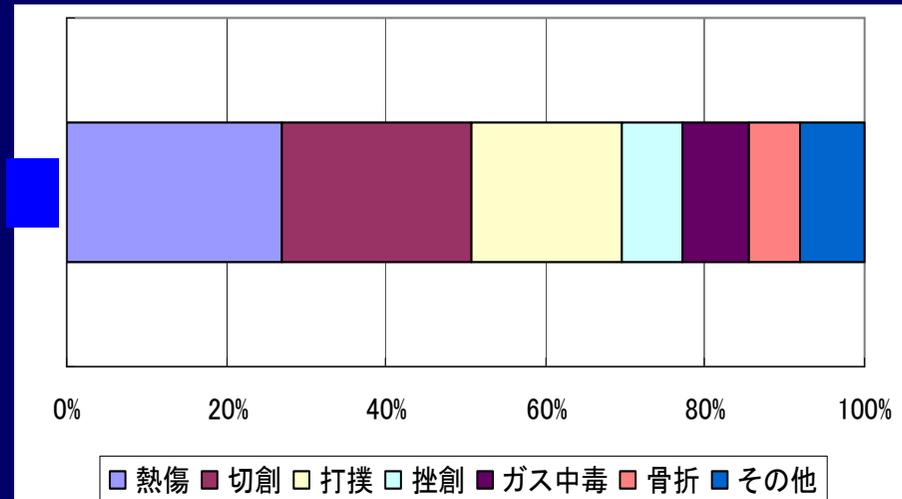


◆1995年阪神・淡路大震災

◆1993年釧路沖地震の負傷内訳



・「地震による家具の転倒を防ぐには」社団法人消防科学総合センター より

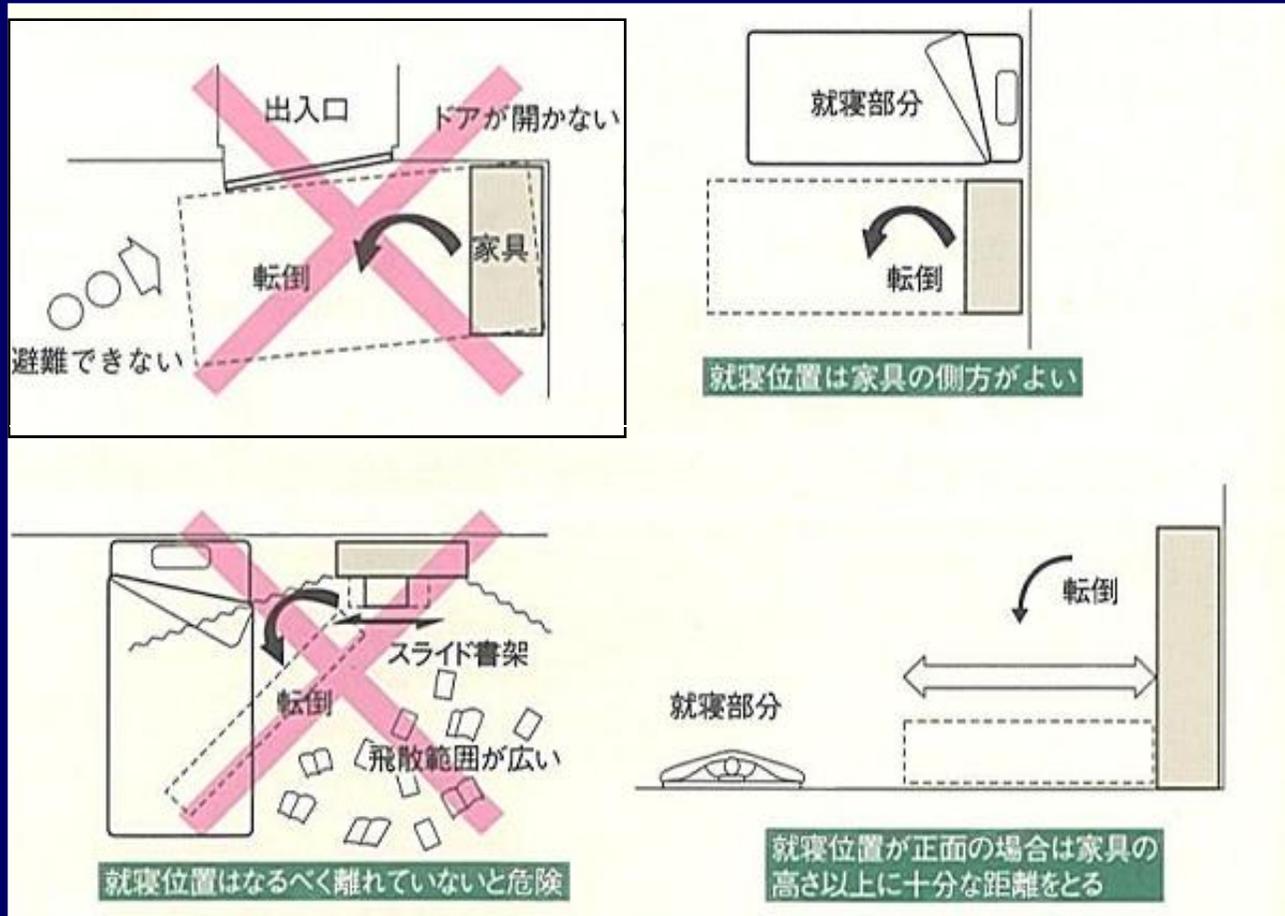


・ 負傷内容では、「熱傷」「切創」「打撲」が高率を占める

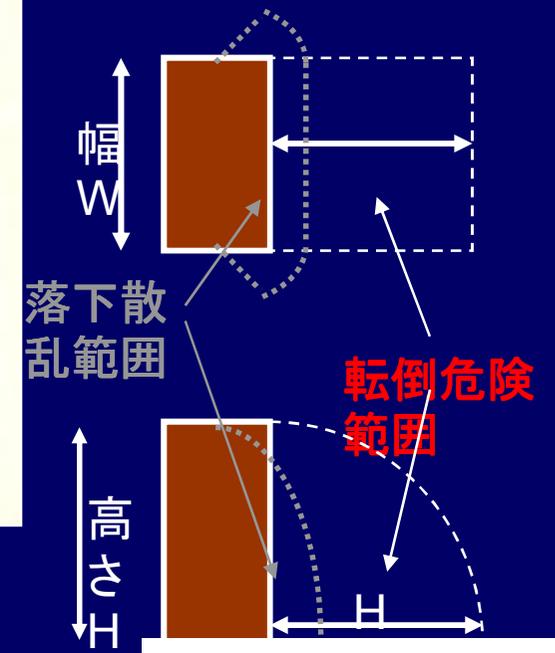
家具の数と配置



家具の配置



家具の数や配置で対応できない場合は、家具の固定方法を講じる。



- ・「地震による家具の転倒を防ぐには」社団法人消防科学総合センターより

自分の身を守る

平成19年能登半島地震における避難状況
(神戸市 神戸の絆ネットワーク

<http://www.kobe-kizuna.net/notohantou1.html>より)

非常持ち出し品

百均ショップで揃う非常持ち出し品

非常持ち出し品リストは、人と防災未来センター編

品目	数量	100円 ショップ	品目	数量	100円 ショップ
非常持ち出し袋	1袋	○	包帯	2巻	○
缶入り乾パン	2個	×	三角巾	2枚	○
飲料水 (500ml)	6本	○	マスク	2枚	○
懐中電灯	2個	○	常備薬・持病薬	適当量	—
ローソク	2本	○	レジャーシート	2畳1枚	○
ライター	2個	○	サバイバルブランケット	2枚	○
携帯ラジオ	1台	×	簡易トイレ	2枚～	×
万能はさみ	1セット	○	タオル	4枚～	○
軍手・手袋	2双	○	ポリ袋	10枚	○
ロープ (7m～)	1本	○	トイレトペーパー	1巻	×
救急袋	1枚	○	ウェットティッシュ	2個～	○
毛抜き	1本	○	現金 (10円玉)	約50枚	—
消毒薬	1本	×	ガムテープ (布製)	1個	○
脱脂綿	適当量	○	油性マジック	太1本	○
滅菌ガーゼ	2枚	○	筆記用具 (メモ、ペン)	1セット	○
絆創膏	10枚～	○			

芦屋市民のアンケート調査結果

◆困ったこと

1. トイレ用水
2. 水と食料
3. 電話不通

◇良かったこと

1. 懐中電灯
2. ラジオ
3. バケツ、風呂の水

地域の力で身を守る



地域で力を身を守るポイント

1. 地域の災害情報を共有する

ハザードマップ、地震防災マップ

2. 地域の人を知る

「災害時要援護者」

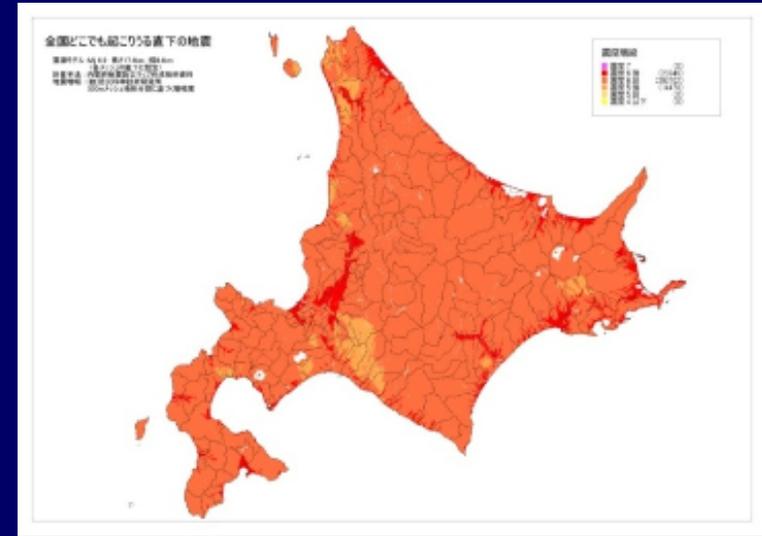
- ・身体的弱者： 障がい者、乳幼児、高齢者
- ・情報入手・伝達上の弱者： 旅行者、外国人、
- ・自力避難困難者： 傷病者(入院患者)、妊婦

3. 共に考え、行動する

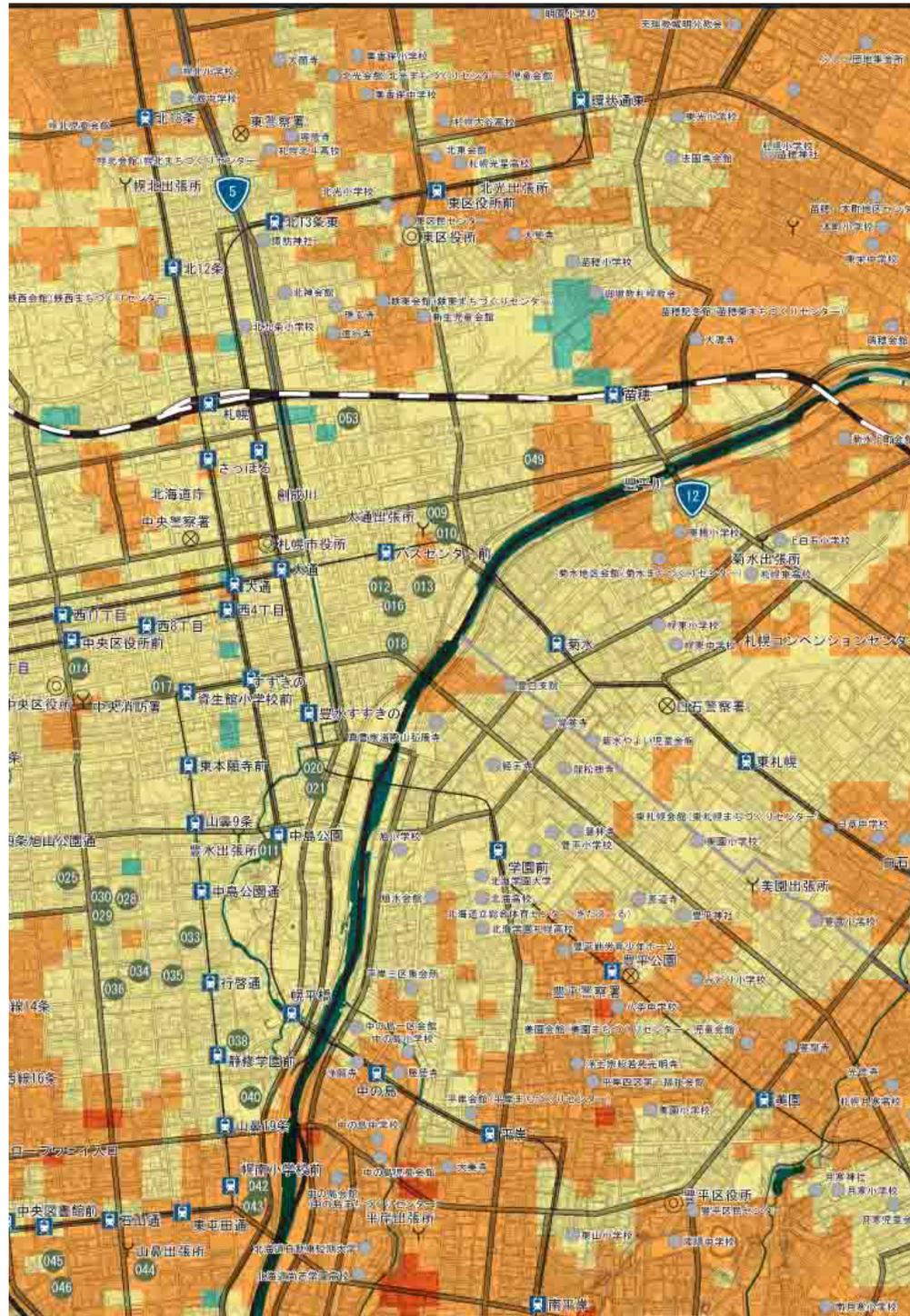
防災訓練、災害図上訓練(DIG)、体験学習



地域の災害危険性を知る



↑ 全国どこでも起こりうる直下の地震(M6.9)
最大震度7の地域がある

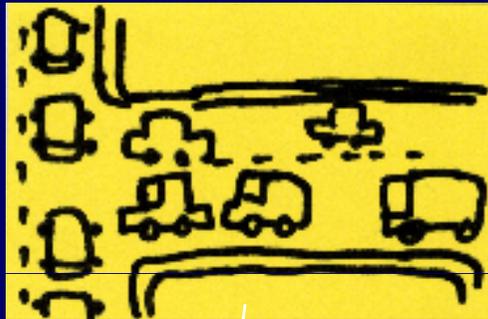


← 札幌市防災マップ(中央区・南区版平成20年)
一部震度7の区域がある。

まちなかウォッチングと防災マップづくり



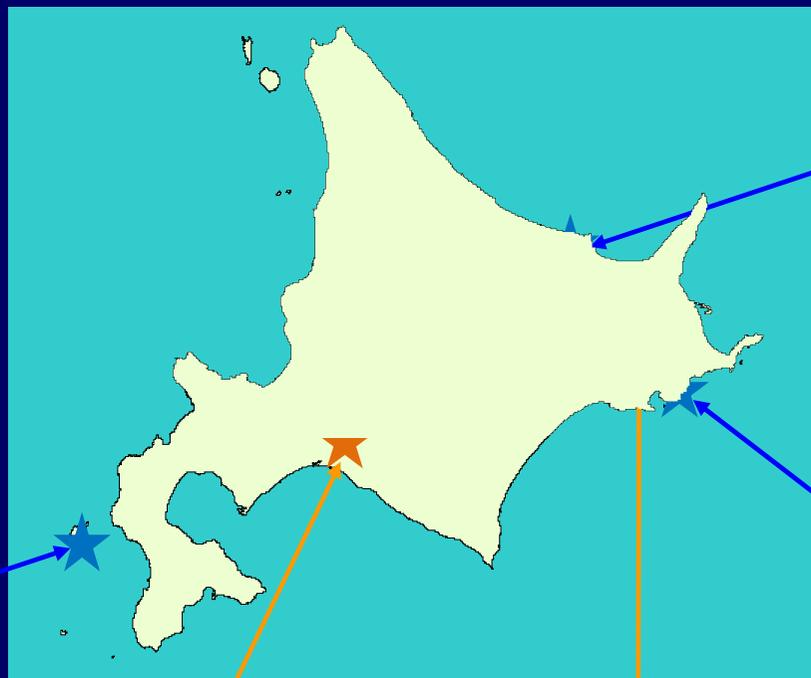
避難所への階段



地震防災体験学習のススメ

★ 津波防災体験
学習

★ 地震防災体験
学習



北見市常呂 (H19)



奥尻町青苗 (H17)



浜中町霧多布 (H18)



厚真町 (H21)



中標津町 (H20)

ま と め

1. 地震の危険性は、日本全国どこにでもある。
→住んでるまちの危険要因、安全要因を知っておいてください。
2. 地震による死傷原因の多くは、建物や家具による。
→建物や室内の危険要因、安全要因を知っておいてください。危険要因を改善してください。
3. 地震災害から生き残るには・・・地域に住み続けるために・・・
→個人で地域で身を守ることを話し合い、実践してください。